



## 2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6531 URL https://www.r-inverse.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 北垣 栄一 TEL03 (5643) 7890  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第2四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,552	25.6	△35	—	△55	—	△56	—
2019年6月期第2四半期	1,235	8.7	△138	—	△152	—	△137	—

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 △56百万円（—%） 2019年6月期第2四半期 △137百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	△18.53	—
2019年6月期第2四半期	△45.73	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第2四半期	3,044	549	17.7	177.07
2019年6月期	3,113	604	19.2	195.62

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 540百万円 2019年6月期 596百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,633	42.6	306	—	276	—	226	—	74.92

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2020年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	3,049,950株	2019年6月期	3,049,950株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	129株	2019年6月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	3,049,830株	2019年6月期2Q	3,004,850株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくなる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間において当社グループは、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。

また、更なる事業領域の拡大に向けて積極的に研究開発投資を継続するとともに、グループ各事業の収益管理及びコーポレート機能強化を目的として当連結会計年度より導入した事業部制が機能した結果、各事業部の業績向上に貢献しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,552,682千円(前年同期比25.6%増)、営業損失35,219千円(前年同期は営業損失138,542千円)、経常損失55,391千円(前年同期は経常損失152,937千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失56,518千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失137,423千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

## ① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、企業の持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みの高まりなどから、弊社へのカーペットタイルの処理委託並びに環境対応製品の基礎原料としての再生樹脂原料の需要は引き続き底堅く推移しております。

新規事業として開始した製鋼副資材製造事業は強い需要に応じるために生産ラインはフル操業で供給しており収益に貢献しております。また、前期より準備を進めていたソリューション事業において大型案件となる機械設備販売の納品が完了し売上を計上しております。

更に中国の廃プラ輸入禁止措置等により国内の廃棄物処理コストが急騰し、安定的な廃棄物処理先確保が困難になりつつある状況を背景に、当社にも廃棄物の有効利用や処理コスト削減に関しての引合いが急増してきており、新たなビジネスチャンスを獲得するべく取り組んでおります。

一方で、高機能樹脂事業においては海洋プラ問題への関心の高まりを受け廃漁網由来ナイロン樹脂への引合いが増加するなど良好な事業環境となっており今後の収益貢献が期待できる状況となっておりますが、第1四半期のマイナスを取り返すに至らず、この結果、売上高は660,169千円(前年同期比70.4%増)となり、セグメント損失は61,886千円(前年同四半期はセグメント損失86,741千円)となりました。

## ② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、カーペットタイルリサイクルに関連したオフィス系改修工事に伴う内装系廃棄物処理は順調に推移しております。また、マンション等のリフォーム・リノベーション案件においても、解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスにより多くの引き合いを頂き、業績に寄与しております。前期で収益悪化の要因であった廃プラ等の処理コスト急騰を価格転嫁することはほぼ終了し、新基幹システム導入とその機能向上を図ることにより現場から管理部門までの伝票処理等のデジタル化によるオペレーションの効率化、管理コストの削減などを実現しております。この結果、売上高は900,167千円(前年同期比5.3%増)となり、セグメント利益は174,249千円(前年同期比137.8%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,059,636千円となり、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)と比べ51,040千円減少しております。これは主として受取手形及び売掛金が167,019千円増加した一方、現金及び預金が26,604千円、商品及び製品が93,295千円、未収還付法人税等が81,772千円それぞれ減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,935,906千円となり、前年度末と比べ8,494千円減少しております。これは、主として有形固定資産が6,020千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産は49,053千円となり、前年度末と比べ9,023千円減少しております。これは、開業費が9,023千円減少したことによるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は860,955千円となり、前年度末と比べ17,068千円増加しております。これは主として新規借入により短期借入金が100,000千円増加し、支払手形及び買掛金が127,627千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は1,633,884千円となり、前年度末と比べ30,688千円減少しております。これは、主として長期借入金が11,656千円、リース債務が10,388千円それぞれ減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は549,756千円となり、前年度末と比べ54,938千円減少しております。これは、主として利益剰余金が56,518千円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績や今後の進捗状況を踏まえて現在精査しております。当該精査の結果、連結業績予想の数値を修正すべきと判断した場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	401,970	375,366
受取手形及び売掛金	347,765	514,785
商品及び製品	195,807	102,511
仕掛品	10,733	10,245
原材料及び貯蔵品	29,520	37,077
前払費用	18,737	18,600
未収還付法人税等	81,772	—
その他	26,679	3,464
貸倒引当金	△2,309	△2,414
流動資産合計	1,110,676	1,059,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	913,030	929,760
機械装置及び運搬具	1,038,324	1,111,537
工具、器具及び備品	80,556	85,591
土地	102,100	102,100
リース資産	150,052	154,199
建設仮勘定	38,073	26,891
減価償却累計額	△677,719	△771,684
有形固定資産合計	1,644,417	1,638,397
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	162,873	162,873
敷金及び保証金	101,386	100,774
その他	13,005	10,456
貸倒引当金	△11,554	△11,484
投資その他の資産合計	285,710	282,619
固定資産合計	1,944,400	1,935,906
繰延資産		
開業費	58,077	49,053
繰延資産合計	58,077	49,053
資産合計	3,113,154	3,044,596

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,569	47,941
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	319,492	329,272
リース債務	34,425	32,460
未払金	180,872	248,151
未払費用	44,565	55,715
未払法人税等	6,368	4,807
未払消費税等	14,256	31,919
その他	68,335	10,687
流動負債合計	843,886	860,955
固定負債		
長期借入金	1,359,070	1,347,414
リース債務	67,061	56,673
資産除去債務	153,016	153,466
繰延税金負債	26,616	25,434
その他	58,807	50,895
固定負債合計	1,664,572	1,633,884
負債合計	2,508,459	2,494,839
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	439,219	439,219
資本剰余金	487,258	487,258
利益剰余金	△329,775	△386,294
自己株式	△96	△142
株主資本合計	596,605	540,041
新株予約権	8,089	9,715
純資産合計	604,695	549,756
負債純資産合計	3,113,154	3,044,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,235,796	1,552,682
売上原価	1,010,268	1,215,786
売上総利益	225,528	336,896
販売費及び一般管理費	364,071	372,115
営業損失(△)	△138,542	△35,219
営業外収益		
受取利息	205	103
物品売却益	741	—
作業くず売却益	108	—
その他	544	797
営業外収益合計	1,599	901
営業外費用		
支払利息	8,516	11,362
開業費償却	7,470	9,023
その他	6	687
営業外費用合計	15,993	21,073
経常損失(△)	△152,937	△55,391
特別利益		
固定資産売却益	1,002	—
新株予約権戻入益	—	120
特別利益合計	1,002	120
特別損失		
固定資産売却損	—	124
特別損失合計	—	124
税金等調整前四半期純損失(△)	△151,934	△55,396
法人税、住民税及び事業税	1,815	2,303
法人税等調整額	△16,326	△1,181
法人税等合計	△14,510	1,121
四半期純損失(△)	△137,423	△56,518
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137,423	△56,518

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△137,423	△56,518
四半期包括利益	△137,423	△56,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137,423	△56,518
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△151,934	△55,396
減価償却費	83,102	97,737
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△888	35
受取利息及び受取配当金	△205	△103
支払利息	8,516	11,362
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,002	124
売上債権の増減額 (△は増加)	19,970	△166,949
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,002	86,226
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,978	△127,627
未払金の増減額 (△は減少)	△48,226	52,617
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,959	18,604
未収消費税等の増減額 (△は増加)	11,560	24,338
その他	11,014	△30,635
小計	△79,114	△89,666
利息及び配当金の受取額	205	103
利息の支払額	△6,399	△11,395
法人税等の支払額	△53,606	△7,224
法人税等の還付額	61,269	81,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77,644	△26,410
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△21,051
定期預金の払戻による収入	27,000	36,051
有形固定資産の取得による支出	△82,040	△71,203
有形固定資産の売却による収入	4,482	124
無形固定資産の取得による支出	△1,428	△2,229
敷金及び保証金の差入による支出	△74	△70
敷金及び保証金の回収による収入	210	459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,850	△57,917
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100,000
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△159,546	△201,876
リース債務の返済による支出	△15,901	△17,441
割賦債務の返済による支出	—	△7,912
自己株式の増減額 (△は増加)	—	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	124,552	72,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,942	△11,604
現金及び現金同等物の期首残高	487,796	358,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	482,853	346,930

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第2四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年12月31日）

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	382,261	853,535	1,235,796	1,235,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,121	1,396	6,518	6,518
計	387,382	854,932	1,242,315	1,242,315
セグメント利益又は損失 (△)	△86,741	73,266	△13,474	△13,474

2. 報告セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△13,474
セグメント間取引消去	△47
未実現利益の調整額	△3,888
全社費用（注）	△121,131
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△138,542

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	654,296	898,385	1,552,682	1,552,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,872	1,781	7,653	7,653
計	660,169	900,167	1,560,336	1,560,336
セグメント利益又は損失 (△)	△61,886	174,249	112,363	112,363

## 2. 報告セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	112,363
セグメント間取引消去	—
未実現利益の調整額	△2,839
全社費用（注）	△144,743
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△35,219

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。